

デジタルで創る、四国の時代。通信で守る、四国の未来。

四国総合通信局の役割は、

- ① 四国4県の皆様が安心して暮らせる環境の整備
- ② 四国全体の地域経済力の向上

この2点をICT・デジタルの力で強かに推し進めることとしています。

本役割を達成するため令和6年度は『デジタルで創る、四国の時代。通信で守る、四国の未来。』をキャッチフレーズに、以下の施策に果敢に取り組めます。

1 誰もが安心して暮らせる四国の構築

(1) 災害発生に備えた即応体制の強化

大規模災害発生時に通信・放送サービスが継続されるよう通信・放送の強靱化を進めるとともに、事業者・自治体・自衛隊など関係機関との連携を強化します。また発災時には、迅速なリエゾン派遣や公共安全モバイルシステム・衛星システム・移動無線局・臨時災害放送局・電源車を貸与します。

(2) 無線局の適正監督及び利活用の推進

無線局の免許・監理、電波の利用状況の調査等を通じて適正な電波利用を推進するとともに、5Gを含む携帯電話のエリア整備やNTN (Non-Terrestrial Network: 非地上系通信ネットワーク) など新たな無線システムの導入、医療分野における電波利用を促進します。

(3) 良好な電波環境の整備

国民の生命・財産や暮らしを支える重要無線通信に妨害が発生した場合、混信源の特定と排除を迅速に行います。また技術基準不適合無線機器に関する注意喚起や電波利用ルールの周知・啓発を行うとともに、不法無線局の取締りを各地で実施します。

(4) 安心・安全なインターネット環境の実現

電気通信サービスにおける消費者保護のため、事業者や消費生活センター等との連携や青少年等の ICT リテラシー向上のためのe-ネット安心講座、高齢者等が安心してデジタルを活用するためのスマホ教室を開催します。年々重要性が高まっているサイバーセキュリティについては、そのリスク対策に向けた普及啓発活動を推進します。

2 四国全体の地域活性化

(1) ICTインフラの展開と社会経済活動の高度化

中山間地域等における光ファイバ・5Gのエリア拡大や携帯不感対策、NTN、LPWA (Low Power Wide Area)、ローカル5Gなどニーズに応じたデジタル基盤を整備するとともに、これらインフラを効果的に活用した自動運転やドローン、自治体のスマートシティ構想や官民のテレワークなど各種の実証・実装・普及に向けた取組を支援します。

(2) 四国発の研究開発

産学官民で構成する「四国情報通信懇談会」に設けられた「四国研究開発促進支援アドバイザーチーム」との協働で四国管内の研究開発案件の発掘・深掘りや研究者からの相談に応じ、各種研究開発プロジェクトへの採択を支援します。また若手のデジタル人材の育成に向けた「Web×IoT メーカーズチャレンジ」等で研究開発活動の更なる活性化を目指します。

(3) 地域に密着した放送・コンテンツ

四国管内の放送・ケーブルテレビ事業者による地域情報の発信を促進するとともに、四国における放送コンテンツ振興に向けたイベント開催や海外展開支援、若手映像コンテンツクリエイターの発掘、放送受信環境の向上等を図り、地域に密着した放送・コンテンツを振興します。

(4) 産学官民の連携

「四国情報通信懇談会」と連携したセミナーやフォーラムの開催、ICT・デジタル関連情報の積極発信などで「デジタル実装」、「研究交流」、「コンテンツ」の各領域における有識者や実務者との交流拡大を進め、産学官民連携による四国地域の経済活性化を図ります。